

第57回 教育美術・佐武賞 応募要項

〈令和4年度〉

美術教育に関する実践研究
(報告または論文)

「教育美術・佐武賞」は、公益財団法人教育美術振興会（当時：財団法人教育美術振興会）の初代理事長として、長い年月ひたすら美術教育の振興に心をくだき、生涯をかけて大きな力を尽くされた佐武林蔵先生（昭和43年没）のご寄附によって、昭和41（1966）年に設立されました。

現場の先生方の実践に光をあてることにより、子供と共に作りあげた優れた授業を広め、指導者の育成と、図画工作・美術科教育の発展に貢献することが本賞の狙いです。そして現場の先生方が日々の実践の悩みから

見出した課題や、新学習指導要領の中から見つけた課題などを解決するために、どのような実践をしているかを大事にしています。

本賞が契機となって、学校現場における実践活動が活性化し、研究の輪が一層広がることを願っています。

教育美術・佐武賞 担当理事

橋本 光明（信州大学 名誉教授 / すみだ北斎美術館 館長）

- **応募の資格** 全国の大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、保育所、特別支援学校並びにその他の機関での教育またはその研究に携わる者。
- **応募内容** 美術教育に関する実践研究（報告または論文）
 - ・未発表のものに限る。（学会誌、書籍、雑誌等で発表した同一のものは不可）
 - ・ただし、関連した研究を他で発表している場合は、論文（報告）末尾に研究会名及び研究テーマを明記する。
 - ・共同、個人を問わない。
- **執筆要領** **表題、概要頁**
 - ・応募原稿の表紙として A4 縦長用紙 1 枚に下記の 4 点を横書きで記す。本文には含まない。
 - ① 表題（研究テーマ） ② 勤務先・氏名 ③ 概要 800 字（40 字×20 行以内） ④ 目次**本文**
 - ・A4 縦長用紙、横書き、本文 1400 字（40 字×35 行）、10 枚以内とする。
 - ・注・図版・表等は、上記 10 枚の中に含める。
 - ・注は本文末尾に番号順に掲載し、本文に通し番号を付ける。
 - ・図版（写真）資料・表などは、1 ページに 1～2 点を目安とする。
 - ・図版等で著作権にかかわる使用料は、応募者の負担とする。規定に反したものは、選考の対象としない。
- **提出するもの** ① 応募票 1 枚：当会ホームページ（<http://www.kyoubi.or.jp/award.html>）よりダウンロードして必要事項に記入。
② 表題、概要頁 2 部：正副を用意
③ 本文 2 部：正副を用意
- **宛先（提出先）** 〒111-0052 東京都台東区柳橋 2-20-16 サクラ東京ビル
公益財団法人教育美術振興会 教育美術・佐武賞事務局宛
- **賞** 教育美術・佐武賞 1 点 賞金 20 万円・賞状
※なお、教育美術・佐武賞に準ずるものに佳作賞を贈ることがある。
- **結果発表**
 - ・月刊『教育美術』8 月号に受賞者の実践研究を掲載するとともに、受賞者に直接通知する。
 - ・教育美術・佐武賞及び佳作受賞者の贈賞式は、2022 年 7 月下旬～8 月中旬に行う予定。
- **著作権** 公益財団法人教育美術振興会に帰属する。ただし、著者は私的使用の範囲を超えて利用しても差し支えない。
- **その他** 教育美術・佐武賞並びに佳作賞となった応募原稿は返却しない。
- **締め切り** 2022 年 3 月 31 日（木） 当日消印有効

《第57回 ゲスト選考委員》

浜田 寿美男（発達心理学者、奈良女子大学 名誉教授）

発達心理学者。京都大学大学院文学研究科（心理学）博士課程単位取得後退学。花園大学助教授、同教授、奈良女子大学教授を歴任。現在、奈良女子大学名誉教授、立命館大学上席研究員。発達心理学の分野で著作、翻訳書が多数ある他、子供が冤罪事件（甲山事件など）で証人として関わったケースに数多く関与。子供の心の読み取り方についての著述も多い。著書に『「私」とは何か』（講談社選書メチエ、1999）、『子どもという自然』と出会う』（ミネルヴァ書房、2015）などがある。

《選考委員》（五十音順）

新井 哲夫（群馬大学 名誉教授）
岡田 京子（東京家政大学 教授）
竹井 史（同志社女子大学 教授）
新関 伸也（滋賀大学 教授）
山田 晋治（淑徳大学 教授）

【お問合せ】

公益財団法人 教育美術振興会 教育美術・佐武賞事務局

〒111-0052 東京都台東区柳橋 2-20-16 サクラ東京ビル TEL.03-3862-3931（平日9:00～17:00）

佐武賞ホームページ <http://www.kyoubi.or.jp/award.html>

第56回 教育美術・佐武賞 受賞者の声より

月刊『教育美術』2021年10月号掲載より一部抜粋



教育美術・佐武賞

【研究テーマ】子供が絵に表す意味と指導のあり方に関する研究
—量的な基礎研究を根拠とした法則化による描画指導法の検討—

花輪 大輔先生 北海道教育大学（札幌校） 准教授

指導者が「いかにして作品をつくらせるか」を標榜しては、図画工作・美術教育の意義を見失うと考え美術教育研究に取り組んで参りましたが、本賞の受賞でこれまでの考えが確信となりました。選評では身にあまるご講評をいただき、大変恐縮しております。また、これまで支えていただいた皆様に心より感謝を申し上げます。（中略）子供の「絵に表す活動」を支える思考への働きかけについて検討できたことは、自身の美術教育研究にとっての大きな糧になると考えております。今後も次代を築く子供たちのための美術教育の発展に尽力して参りますので、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



佳作賞

【研究テーマ】生徒の主体的な社会参画意識と創造性を育む
プロジェクト型学習カリキュラムの実践と検討

西澤 智子先生 香川県立高松東高等学校 教諭

今回の論文は日々試行錯誤しながら取り組んできたものをまとめたものです。選考委員の先生方から「普通科や他の専門学科にも応用可能な取り組みである」「探究型の学習の核になっている」「地域社会へのかかわりから深い学びへと誘うカリキュラムの提案」等の講評を頂き、私が大切にしている取り組みを評価していただけたことは大変うれしく、大きな喜びを感じました。（中略）今回の受賞を励みに、今後も現場で生きる研究に取り組んでいきたいと思っております。

月刊『教育美術』 教育美術・佐武賞 掲載号 バックナンバー

2016年8月号（本体価格861円＋税 送料別）

第51回 教育美術・佐武賞

《佳作賞》森田 亮

肢体不自由児が“自分でできる”美術の授業づくり
—《美術の実態表》と《目標の段階表》による、個別の題材目標と手立ての設定を方策として—

《佳作賞》横田 恭典

子どもの心の安定をめざした図画工作科 学習指導
～セルフイメージを高揚させるための造形活動を通して～

2017年8月号（本体価格861円＋税 送料別）

第52回 教育美術・佐武賞

《佳作賞》井手 淑子

美術を愛好する心を育てる美術教育のあり方
～地域活性化アートイベントと学校現場の連携を通して～

《佳作賞》本山 和寿

熊本の子どもたちに図画工作科ができること
～イノベーション力を育む一年生の色彩指導～

2018年8月号（本体価格861円＋税 送料別）

第53回 教育美術・佐武賞

《教育美術・佐武賞》古家 美和

生活の中の芸術と関わり、表現活動を通して
楽しく豊かな生活を創造する題材の開発と手立ての工夫

《佳作賞》潮木 邦雄

子供の成長を支える美術教育の実践
～「マイ・イソップ物語」の制作と鑑賞活動から～

2019年8月号（本体価格861円＋税 送料別）

第54回 教育美術・佐武賞

《佳作賞》宮田 栄子

造形的な見方・考え方を働かせ、自分らしく表現する生徒の育成
～造形的な視点に基づいた思考の力を高める指導過程の工夫～

2020年8月号（本体価格864円＋税 送料別）

第55回 教育美術・佐武賞

《教育美術・佐武賞》

《執筆代表者》永松 芳恵

美術がつながり、子ども・地域・学校
～学校現場が模索した教科融合型学習の試み～

《佳作賞》岡本 真梨

表現力を高めるための「対話的な活動」の工夫
～ピクトグラム制作を通して～

《佳作賞》堤 祥晃

「深い学び」に繋がる中学校美術科の授業
～造形要素と制作過程を軸にした授業改善と実践～

2021年8月号（本体価格864円＋税 送料別）

第56回 教育美術・佐武賞

《教育美術・佐武賞》花輪 大輔

子供が絵に表す意味と指導のあり方に関する研究
—量的な基礎研究を根拠とした法則化による描画指導法の検討—

《佳作賞》西澤 智子

生徒の主体的な社会参画意識と創造性を育む
プロジェクト型学習カリキュラムの実践と検討

第 57 回 教育美術・佐武賞 応募票

【研究テーマ、概要等】

- 応募原稿の表紙として A4 縦長用紙 1 枚に下記の 4 点を横書きで記す。
 ①研究テーマ ②勤務先・氏名 ③概要 800 字（40 字×20 行以内） ④目次

【応募原稿】

- A4 縦長用紙、横書き、本文 1400 字（40 字×35 行）、10 枚以内とする。
 □注・図版・表等は、上記 10 枚の中に含める。
 □注は本文末尾に番号順に掲載し、本文に通し番号を付ける。
 □図版（写真）資料・表などは、1 ページに 1～2 点を目安とする。
 □図版等で著作権にかかわる使用料は、応募者の負担とする。規定に反したものは、選考の対象としない。

私は上記要項に同意して申し込みます。

研究テーマ					
共同・個人	<input type="checkbox"/> 共同 <input type="checkbox"/> 個人 (いずれかに✓をいれてください)				
執筆者氏名	ふりがな		生年月日	年 月 日 (歳)	

出身校					
勤務先／所属	学校名	ふりがな		職名	

	住所	〒			
自宅 (連絡先)	住所	〒			
	TEL		Eメール		
関連した研究を他で発表している場合、発表年、研究会名及び研究テーマを明記					
過去に教育美術・佐武賞に応募したことがある場合、応募年を明記					